

地域と関わり「貢献」模索

私は、高校時代はインドア派の人間でした。しかし、「このままではいけない！」と考えて、まちづくり活動が活発な共和大シティライフ学部に進学しました。

大学1年生の時に力を入れたのが「地域社会実習」という科目です。大

谷地区の草刈りや花火大会のスタッフ、釜川イルミネーション制作などのボランティアを経験することができました。初めは少々戸惑いま

たが、少しずつ「他者や地域のためにできることは何？」と考え、積極的に関わるようになります

た。私が所属するゼミでは、建築石材の採掘で有名な大谷地区について、観光振興による地域活性化を目指し活動しています。例え



ゼミ活動で大谷地区を訪れた吉岡さん（後列中央）

生物の多様性と環境保護等について「持続可能な開発目標（SDGs）」の視点も情報発信ていきたいと思います。そして、自分だけではなく、他者を思いやる人間に成長し、地域社会に貢献できればと考えています。

5色のサポート

市内大学リレーコラム

みやもつと